

# 新潟県障害者リハビリテーションセンター 2019年度事業報告書

## 1 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

区分	職名	施設長	医師	サービス管理責任者	直接処遇職員							事務員	合計
					生活支援員	職業指導員	就労支援員	作業療法士	理学療法士	言語聴覚士	看護師		
基準定数①		1	1	1	常勤換算方法で8.7以上 ※稼働率125%で計算							1	
正規職員の配置②		1		1	3		2	2	1	1		1	12
正規職員以外のものの配置③			[2]		3		1			1	1	1	7 [2]
現員計 ②+③=④		1	[2]	1	6		3	2	1	2	1	2	19 [2]

注) 嘱託医は〔 〕内で記入すること。

## 2 利用者の状況

(当該年度3月31日現在)

	男性	女性	計
入所者数	21	3	24
退所者数	29	2	31
在籍利用者数 (施設入所)	42 (17)	5 (1)	40 (18)

◎年間延べ利用者数 ( )は前年度

施設入所	機能訓練	生活訓練	就労移行	生活介護	短期入所	合計
6,794 (5,981)	4,731 (4,793)	1,570 (891)	1,092 (1,151)	1,139 (1,297)	96 (80)	15,422 (14,494)

### 3 生活介護又は施設入所支援の実施状況

(当該年度実績)

#### 生活介護

個別支援計画を基に支援を行っている。

利用時のバイタルチェックを行い利用者の体調管理を行っている。また、日中活動は手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニング、グループワーク等をとおして趣味の拡大、社会生活能力の向上に向けて支援している。

必要に応じて医学的リハビリ（PT・OT・ST）に取り組んでいただき自立支援を行っている。

#### 施設入所支援

個別支援計画を基に支援を行っている。

高次脳機能障害や身体機能面で自立できない利用者に対して、介助や支援をとおして自立支援を行っている。

また、生活習慣や食生活等の健康管理を看護師の指導のもと支援している。

### 4 自立訓練又は就労移行支援の実施状況

(当該年度実績)

#### 機能訓練

個別支援計画を基に支援を行っている。

PT・OT・ST と連携を取りながら機能向上に向けた支援を提供している。主にサービス内容は、手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニング等をとおして身体機能の向上、高次脳機能障害の改善、資格取得、基礎学力向上、趣味の拡大等を支援している。

また、社会生活能力の向上を目的に外出訓練、調理実習、グループワーク等に取り組んでいただき機能向上とともに社会生活能力の向上を支援している。

#### 生活訓練

個別支援計画を基に支援を行っている。

日常生活活動能力や社会生活技能の向上に向けた支援を行っている。サービス内容は、手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニング等の他、生活リズムの確立や服薬、金銭の自己管理の支援、グループ活動を通してコミュニケーション能力の向上、障害理解促進を促している。

#### 就労移行支援

個別支援計画を基に支援を行っている。

一般就労や復職を目的に職業スキルの向上に向けた支援を行っている。主にパソコンの資格取得を目指して支援している他、ワークサンプル幕張版（訓練版 OAWork）を用いて、請求書・納品書の数値チェック、作業日誌の記入、ピッキング、物品請求書作成など事務的作業により近い形で支援している。

復職を目指す方に対しては、復職先と調整を図り復職に必要な職業スキル習得を支援する。また復職先から復職した際に行う仕事の内容を聞き、実際に仕事で使う道具等を借りて訓練を行っている。

## 5 令和元年度の概況

令和元年度は、退所者 31 名のうち、復職を含め 12 名の利用者を就労につなげることができた。また、7 名の方が就労系の福祉サービスにつながった。自動車運転の再開に向けても積極的に支援し、7 名の方が自動車運転再開につながった。こうした障害者の社会参加に向けた支援の成果は関係機関にも周知され、年間通じて見学・相談が一定数あり、利用者数も通年安定し、収入は過去最高となった。

行事としては、9 月 17 日の行幸啓にて、両陛下がリハビリの様子をご視察され、利用者お一人おひとりにお声がけをいただき忘れがたい一日となった。

## 6 健康管理・衛生管理の状況

## (1) 利用者の健康診断の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

期 日	受診済人数	検 査 内 容	実 施 状 況
2019 年 7 月	18 人 *利用者個々の状況は把握	身長・体重・視力・握力・血圧・検尿・診察	新潟県障害者リハビリテーションセンター 嘱託医
2020 年 2 月	18 人 *利用者個々の状況は把握	身長・体重・視力・握力・血圧・検尿・診察	新潟県障害者リハビリテーションセンター 嘱託医

## (2) 職員の健康診断の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

期日	受診済人数	検査内容	実施状況
2019 年 4 月	1 人	問診・身長・体重・視力・血圧・検尿・血液一般・腹囲測定胸部 X 線	新潟県障害者リハビリテーションセンター ゆきよしクリニック
2019 年 11 月	19 人	問診・身長・体重・視力・血圧・検尿・血液一般・腹囲測定胸部 X 線	新潟県障害者リハビリテーションセンター ゆきよしクリニック

## 7 地域生活移行計画の実施状況

(当該年度実績)

各々の利用者の個別支援計画に基づいて、市町村及び相談機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、指定一般相談支援事業所等と連携して行っている。

## 8 サービス向上計画の実施状況

## (1) 自己評価・第三者評価の実施状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

自己評価活動		第三者評価			
実施の有無	実施内容	実施の有無	評価実施機関	第三者評価の実施内容	実施時期
無	—	無	—	—	—

(2) 意見箱、利用者アンケート等の実施状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

- ・ 苦情・要望等の受付 苦情 0 件 要望等 : 31 件 (その都度、職員会議等で検討・対応を行っている)
- ・ 利用者満足度調査 2 月下旬実施
- ・ 食事アンケート調査 2 月下旬実施

(3) オプションサービスの実施状況

(当該年度実績)

「その他の日常生活費」を設定。以下のサービス内容の実績があり。

- ・ 私用のコピー、FAX の使用
- ・ 医療機関等への付添い送迎、外出支援

(4) その他サービス向上のための取組

(当該年度実績)

多岐にわたる利用者のニーズに対して、窓口で選別せず、まずは、要望をお聴きし、問い合わせに対して真摯に対応し、必要な支援につなげている。  
地道な作業であり、時間もかかるが、一番本質的なサービスの向上につながっている。

9 利用者拡大計画の実施状況

(1) 広報・普及活動

(当該年度実績)

- ・ 見学者及び問い合わせ者へのパンフレット配布
- ・ 医療機関・相談機関・各市町村社会福祉協議会・その他関係機関へ FAX レター「リハセン通信」を毎月配信する
- ・ ホームページの整備  
毎月 2 回、行事、利用者に関する記事の更新と写真を掲載する
- ・ 回復期病棟の病院、地域包括支援センターへ訪問しサービス内容の説明等を行う
- ・ 高次脳機能障害普及啓発の動画作製

(2) その他利用者拡大のための取組

(当該年度実績)

年末年始やゴールデンウィークなど、長期間休まれることが懸念される時期に、施設行事を企画し、利用率向上を図る。

- ・ 5 月 1 日 バーベキュー大会
- ・ 1 月 6 日 新年会

(3) 利用率向上のための取り組み

(当該年度実績)

- ・ 高次脳機能障害相談支援センターの主催研修会で広報活動を行う
- ・ 医療機関、行政機関、相談支援事業所等の職員、障害当事者(家族)を対象とした施設の見学・説明会、研修会を定期的に実施する。  
※施設見学説明会(令和元年 6 月 26 日)

## 10 権利擁護計画の実施状況

## (1) 苦情解決の仕組みへの取組み内容

(当該年度 3月31日現在)

	設置の有無	誰をあてているか(職・氏名)
苦情受付担当者	① ・ 無	西片 寿仁(副所長)
苦情解決責任者	① ・ 無	秋山 明美(所長)
第三者委員	① ・ 無	笠井 友治郎(大学教員・ 元身体障害者更生相談所所長) 渡辺 啓子(亀田小学校区コミュニティ協議会 副会長)
苦情解決のための要領、マニュアル等の作成の有無		① ・ 無

## (2) 苦情解決の仕組みの周知方法

(当該年度 3月31日現在)

利用者・ 家族等へ の 周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	① ・ 無	有 ・ ②	① ・ 無	
受付けた 苦情内容 及び解決 結果の 公表方法	事業報告書への掲載	会報等への掲載	その他	
	① ・ 無	① ・ 無	意見・要望に関しては居住棟 に掲示・利用者朝会で報告	

## (3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

(当該年度実績)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所としてどのような体制(例:責任者の設置等)を整備しているか。 苦情受付の担当者を定め、虐待又はその疑いがある場合は、口頭や苦情受付箱への投書が出来る様に体制を整えている。</li> <li>・ 事業所としてどのような取り組み(例:研修の実施、掲示等)を行っているか。 利用者朝会・職員朝会・各種会議において、人権擁護等についての話題を取り上げ、職員と利用者が共に考え対応できるように、常に注意喚起を促している。 入浴時に、注意し身体虐待の痕跡等観察を行っている。 利用者間の人間関係に留意し、早めの対応が出来るように努めている。 虐待防止の研修に毎年参加し、伝達講習を実施している。</li> </ul>
--

## (4) 身体拘束の有無

(当該年度実績)

身体拘束の方法	件数	身体拘束の必要な理由	記録の有無	家族等の確認の有無
無し				

## 1 1 家族・地域・関係機関等との連絡体制計画の実施状況

(当該年度実績)

個別支援計画策定後、サービス担当者会議を開催し必要に応じて、本人、家族、市町村障害福祉課、指定特定相談支援事業所、担当ケアマネージャーを含め支援計画の周知、情報共有を行っている。

## 1 2 環境への配慮

(当該年度実績)

ゴミの分別に努め、資源ごみのリサイクル活用に貢献する。送信された FAX はパソコンで確認し、必要な物のみ印刷をする。カラーコピーの使用を最小限にし、必要枚数以上の印刷はしないように努める。裏紙の利用を積極的に行う。冷暖房の設定温度(暖房 20 度・冷房 26 度)を守る。9 時と 13 時に居室の照明、エアコンの切り忘れがないか巡回を行う。

## 1 3 災害事故防止対策の状況

## (1) 防火管理者の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

防火管理者職・氏名	交流センター 所長 丸田 徹	防火管理者 講習会受講	平成 18 年 9 月 6・7 日受講
防火管理者選任年月日	平成 18 年 11 月 2 日選任	消防署への届出	平成 18 年 11 月 2 日届出

## (2) 消防計画の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

消防計画作成年月日	平成 18 年 4 月 1 日作成	消防署への届出	平成 18 年 4 月 1 日届出
職員への周知状況	「防災計画」「事故対応・防災計画書」の個人配布		
地震、台風等災害計画	「防災計画」の中に記載		

## (3) 防災体制の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

近隣施設・地域住民との協力体制	最終避難所として 向陽の里・あさひ園・亀田公園
夜間勤務職員の役割の明示	新潟ふれあいプラザ自衛消防隊編成表の 2. 閉館時間及び夜間に記載

## (4) 消防署の立入検査の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

消防署の立入検査の実施 (直近のもの)	年 月 日実施	所轄消防署名	
改善 指示の 内容	※ふれ愛プラザの報告に準ずる	左に対 する改 善状況	消防署に対する 改善報告年月日 年 月 日

(5) 消防・防災訓練の状況 ※年に2回はふれ愛プラザ全体の訓練(4,11月)  
(当該年度実績)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
消防訓練 (該当箇所に○印)	実施日	18日	29日	24日	29日	7日	17日	10日	6日	24日	28日	25日	17日	12	
	実施内容	避難	○			○				○		○	夜		5
		救助	○												1
		通報	○							○			夜		3
		消火	○							○			夜		3
	消防署への事前通知														
	消防署の立会い														
	近隣施設、地域住民の参加														
	その他の防災訓練 ( )			○	○	○	○		○		○		○	○	8
	消防器具・避難経路等の自主点検							○							1
消防署による 検証指導の実施		(実施済のときは、実施年月日及び指導内容) 実施年月日： 指導内容：													

(「○」…実施、「夜」…夜間想定訓練)

- ・ 5/29 緊急連絡訓練
- ・ 6/24 水害想定避難訓練
- ・ 7/29 防犯対策のビデオ鑑賞
- ・ 8/7 防災打ち合わせ
- ・ 9/17 防災設備点検
- ・ 10/10 緊急連絡訓練
- ・ 12/24 緊急連絡訓練
- ・ 2/25 夜間想定避難訓練
- ・ 3/17 防災打ち合わせ

1.4 職員の資質向上等人材育成の状況

(1) 職員会議等の開催状況

会議名	開催日	記録の有無	参加者
職員会議	不定期	有・無	訓練配置以外の全職員
支援会議	不定期	有・無	訓練配置以外の支援員・看護師
経営戦略会議	第2水曜日	有・無	管理部長、事務局長、所長、副所長、庶務課長、看護師、サービス管理責任者

## (2) 職員研修の状況

	主催	研修名	実施年月日	参加者
内部研修	研修委員会	法人勉強会（口腔機能低下症）	4月11日	自主参加
		法人勉強会（身体拘束排除）	5月23日	自主参加
		法人講演会（個人情報保護法）	6月20日	自主参加
		法人講演会（接遇セミナー）	7月18日	自主参加
		法人発表会（施設の取組）	10月3日	自主参加
		法人講演会	2月15日	自主参加
		HCR 報告会	11月7日	自主参加
		法人勉強会（感染予防）	12月5日	自主参加
		法人勉強会（認知症ケア）	2月21日	自主参加
	災害対策委員会	普通救命救急講習会	7月10日 11月13日	
外部研修	全国身体障害者更生施設長会	身体障害者リハビリテーション研究集会	11月27～29日	秋山
	新潟県	中部ブロック身体障害者更生援護施設長協議会・研修会	10月3・4日	西片・佐竹
		苦情解決責任者研修会	10月24・25日	西片
		第三者評価事業者説明会	11月21日	西片
		虐待防止対策研修	6月27日	山田真
	新潟県社会福祉協議会	キャリアパス対応生涯研修	7月17・18日	山田早
		福祉職員スタートアップ研修	8月1・2日	高村
		職場研修担当職員研修	8月20・21日	岡村
		対人援助ファシリテーション研修	11月12日	高村
		伝える力研修	10月16日	永井
		モチベーションアップ研修	12月11日	佐竹
		コーチング研修	10月17日	渋谷
	西新潟中央病院	てんかん研修会	8月21日	吉田・山田早
	新潟市	給食施設栄養管理指導会	7月4日 9月20日	高村
	NTT	ビジネスマナー・電話対応研修	5月21日	高村

	主催	研修名	実施年月日	参加者
	こあサポート	テレワークセミナー	10月10日	山田
	地域定着支援センター	司法福祉研修	6月11日	西片・佐竹
	新潟障害者職業センター	就業支援基礎研修	7月19・23・30日	佐竹

### 15 建物・設備等の状況

- (1) 男性浴槽を循環ろ過式から溜め湯式に変更 (7/22～)
- (2) 居住棟改修
  - ・男子トイレ 床シート貼替 (3/20～21)
  - ・食堂 カウンター化粧シート貼替 (3/21)
  - ・男子洗面所 カウンター補修 (3/20～22)  
床シート貼替 (3/28～29)  
壁塗装 (4/4)
  - ・男性洗濯室 床シート貼替 (3/28～29)  
壁塗装 (4/5)
  - ・談話室・面会室 段差解消し畳から床に改修 (3/25～3/31)
  - ・ADL 訓練室 段差解消し畳から床に改修 (3/23～4/6)
  - ・医務室ドア造設 (3/30～4/10)
- (3) 中庭植栽工事 (3/23～27)
- (4) 備品設備の買い替え
  - ・食堂テーブル (一体管理予算より)
  - ・送迎車両 (福祉車両タント 令和2年5月納車)
  - ・ロールカーテン (面会室、ADL室、通所室)
  - ・パソコン4台
  - ・物置
  - ・洗濯機1台
- (5) 監視カメラ 居住棟5か所設置 (県予算より)



〈食堂手洗い〉



〈食堂流し台〉

新潟県障害者リハビリテーションセンター



〈居住棟男性トイレ〉



〈居住棟男性洗濯室〉



〈居住棟男性洗面所〉



〈談話室・面会室〉



〈ADL 訓練室〉



〈医務室ドア造設〉

新潟県障害者リハビリテーションセンター



〈居住棟中庭植栽〉



〈福祉車両タント 令和2年5月納車〉



〈食堂テーブル〉



〈物置〉



〈ロールカーテン〉